

平成30年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	42	学校名	県立潮来高等学校				課程	全日制		学校長名	飯山 美都子					
教頭名	神原 忠志								事務(室)長名	箕輪 猛						
教職員数	教諭	31	養護教諭	1	常勤講師	8	非常勤講師	6	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	3	計	56
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	51	50	49	29	44	44			144	123	9				
	商業科	11	8	18	8	10	17			39	33	3				
人間科学科	6	29	6	26	3	26			15	81	3					

2 目指す学校像

- 1 一人一人を大切にし、進路希望の実現が図れる学校。
- 2 基本的な生活習慣を身に付け、決まりが守れる規律ある学校。
- 3 学科の特性を生かした教育活動を展開し、地域に愛される学校。

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	学校評価アンケートで、「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合は69%である一方、「意欲的に学習に取り組んでいる」と答えた割合は57% (前年度2ポイント減) であり、主体的に学習に取り組んでいる生徒の割合は低い。また、「平日の学習時間」が0分と答えた生徒の割合は55%であり、家庭での学習時間も不足している。	学習意欲を向上させ、基礎・基本の定着を図るために、より一層の指導の工夫・改善に努める。個に応じた指導を推進し、計画的・組織的な指導により主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
進路指導	平成30年3月卒業生の進路決定率は98.7%、進路未決定率は1.3%という結果であった。生徒への個々に応じた働きかけにより進路意識は高くなってきている。 保護者への働きかけや協力体制を促していきたい。	LHR、個別面談、就業体験、進路ガイダンス等をおして、生徒に対する進路意識の一層の向上を図ると同時に保護者への進路実現に対する協力体制を構築する。
生徒指導	保護者による学校評価では「良いことは良い、悪いことは悪いときちんと指導して	教職員の共通理解のもとに、生徒観察や声掛けを

別紙様式1 (高)

	<p>いる」(81%)など、一定の評価を得ている。特別指導件数はおおむね減少傾向にあるが、SNS等によるトラブルの増加が見られた。生徒指導集会やさわやかマナーアップ運動をとおして基本的生活習慣の確立や更なる規範意識の高揚を図りたい。</p>	<p>徹底し、基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を目指して組織的・計画的に取り組む。</p>
--	--	---

4 中期的目標

<p>1 学習指導 生徒が自主的、自立的学習に取り組むことのできるよう、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。</p> <p>2 進路指導 生徒の個に応じた進路希望の実現を図る。</p> <p>3 生活指導 基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚に努め、生命と身体の安全を図る。</p> <p>4 特別活動・道徳教育・総合的な学習の時間 部活動加入率の向上を図り、部活動を充実させるとともに、豊かな人間性や社会性を身に付け、生きる力を育む。</p> <p>5 学校の活性化 地域に根ざした特色ある学校づくり、開かれた学校づくり、信頼される学校づくりを推進する。</p>

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
<p>1 基礎・基本の定着と学力の向上。確かな学力の定着と学習習慣の定着化。授業力の向上と改善。</p>	<p>①少人数授業やチームティーチングを充実させ、基礎・基本の確実な定着を図り、基礎学力を向上させる。</p> <p>②校内の授業研修を充実させ、アクティブラーニング的な指導などの実践による「分かる」授業の充実改善に努める。</p> <p>③適切な学習課題を与えるなど、家庭での学習時間を確保する指導を工夫する。</p> <p>④普通科、商業科、人間科学科の三学科の特色ある学習指導を実践する。</p> <p>⑤「ベーシックゼミ」を活用し、成績不振の生徒に対する指導体制を充実させる。</p>
<p>2 キャリア教育を推進、就職及び進学指導の充実。生徒の実態に即した進路指導の充実。</p>	<p>①各科の特色を生かした資格取得を目指す。</p> <p>②進路行事を体系的に実施し、勤労観・職業観を育成する。</p> <p>③生徒の個性を生かした進路指導を実施する。</p> <p>④校内外の研修を充実させ、教員の指導力の向上と進路指導に関する共通理解を図る。</p>

別紙様式1 (高)

<p>3 「道徳」及び「道徳プラス」を軸とした心の教育。</p>	<p>①「道徳」の時間を要として学校教育活動の全体をとおして、「生きる力」及び「豊かな心」を育む。 ②計画的な生徒面談や、教育相談部との情報交換を密にし、生徒の理解と指導に役立てる。 ③「朝の声掛け」とマナーアップ運動を全校的に実施し、あいさつの励行と服装・頭髮の指導を徹底する。 ④交通安全教室、禁煙教室、薬物乱用防止教室、ネット犯罪防止教室、性に関する講話等を体系的に実施し、道徳的実践力の育成を図る。 ⑤家庭、中学校、地域、関係機関との連携協力を図り、生徒一人一人の個性を生かす指導に努める。</p>
<p>4 部活動・特別活動の充実。</p>	<p>①部活動加入率を向上させ、部活動の活性化を図る。 ②学校行事等をとおして、ホームルーム・生徒会活動の充実を図る。 ③清掃の徹底、奉仕活動や環境の美化に努める。</p>
<p>5 本校の伝統を生かした特色ある学校づくり、地域に愛される開かれた学校づくり、保護者との連携による信頼される学校づくりの推進。</p>	<p>①「朝の読書」を全校一斉に取り組み、集中力を磨き教養を深める。 ②1年生で「ボート授業」を実施し、潮来高校生としての自覚と帰属意識を高めるとともに、社会性及び協調性を育む。 ③生徒や保護者による学校評価アンケートを実施し、学校の教育活動に生かす。 ④保護者との連携を密にし、教育活動への理解と協力を得る。 ⑤授業公開や学校新聞・HPを活用して、学校の教育活動の様子を地域に積極的に公開する。</p>